



Title	中央アジア関連研究文献リスト2020
Citation	日本中央アジア学会報, 17, 72-75
Issue Date	2021-07-31
Doc URL	http://hdl.handle.net/2115/89131
Type	other
File Information	JB017_017list.pdf



[Instructions for use](#)

中央アジア関連研究文献リスト2020

本リストは、2020年(1月～12月)に刊行された、原則としてイスラーム化以降の中国新疆、旧ソ連領のムスリム地域、およびその周辺地域に関する学術文献(学術的映像作品を含む)をリストアップしたものである(理科系のものを除く)。原則的に、国内で刊行された、国内で活動する研究者による著作を中心とし、エッセイや辞典項目等は除外した。ただし、本学会会員の著作については、海外刊行のものも一部含まれる。なお、各文献の副題はコロンつなぎで統一した。

書籍

- アバイ・イブラギム・クナンバエフ著、坂井弘紀、増島繁延、西村幹也監修・翻訳『アバイ 詩集・叙事詩・訓戒の書』花伝社(非売品)
- 今村薫編著『牧畜社会の動態』(中央アジア牧畜社会研究叢書1)名古屋学院大学総合研究所(非売品)
 - 塩谷哲史「19世紀中葉オレンブルクにおける交易について」
 - 地田徹朗「カザフスタン・小アラル海流域での牧畜の特性に関する萌芽的調査：遠隔村・アクバストゥ村を中心に」
 - 今村薫「フタコブラクダによる運搬技術：モンゴル国に住むカザフ人の例から」などを所収
- 植田暁『近代中央アジアの綿花栽培と遊牧民：GISによるフェルガナ経済史』北海道大学出版会(7,500円+税)
- 小野亮介、中西雄二、岡野翔太、瀬戸徐映里奈『「亡国の越境者」の100年：ネットワークが紡ぐユーラシア近現代史』(ブックレット「アジアを学ぼう」別巻22)風響社(900円+税)
- FARKHSHATOV Marsil N. and ISOGAI Masumi eds., “My Autobiography” by *Ḥasan ‘Atā’ Gabashī in 1928: ‘Ulamā’ and Soviet Power*, MEIS-NIHU Series no. 3, Studia Culturae Islamicae no. 111, Fuchu, Tokyo: Research Institute for Languages and Cultures of Asia and Africa,

Tokyo University of Foreign Studies (非売品)

- 松原正毅編『中央アジアの歴史と現在：草原の叡智』（アジア遊学 243）勉誠出版（2,400円＋税）
 - 堀直「中央ユーラシア史の私的構想：文献と現地で得たものから」
 - 林俊雄「中央アジアにおける土着信仰の復権と大国の思惑：考古学の視点から」
 - 濱田正美「聖者の執り成し：何故ティムールは聖者の足許に葬られたのか」などを所収
- 山田孝子編『人のつながりと世界の行方：コロナ後の縁を考える』英明企画編集（1,000円＋税）
 - 藤本透子「移動する人々のつながり：カザフ草原に生きる家族の事例から」
 - 和崎聖日「結婚と「つながり」のかたち：中央アジア南部のムスリム社会」などを所収

論文

- 諫早庸一「13～14世紀アフロ・ユーラシアにおけるペストの道」『現代思想』48(7), 137–144頁
- ISAHAYA Yoichi, “Fu Mengzhi: ‘The Sage of Cathay’ in Mongol Iran and Astral Sciences along the Silk Roads,” M. Biran, J. Brack, and F. Fiaschetti eds., *Along the Silk Roads in Mongol Eurasia: Generals, Merchants, and Intellectuals*, Berkeley: University of California Press, pp. 238–254
- Исогай Масуми. Правовой плюрализм и мусульманский развод в Волго-Уральском регионе конца XIX века // Десятые Большаковские чтения: оренбургский край как историко-культурный феномен: сборник статей международной научно-практической конференции: в двух томах: Т. 2. Оренбург: Изд-во Оренбургского государственного педагогического университета. С. 67–70
- 宇山智彦「ペレストロイカ期中央アジアにおける共和国の自立と民族問題の関係：「政治の場」の浮上と遠心化・多様化」『国際政治』201, 98–113頁
- Уяма Томохиико. Теория заговора мешает пониманию сути вопроса: по поводу статьи Владимира Шварца «Высочайшее повеление от 25 июня 1916 года – документ двойного назначения» // Изучение 1916 года: деполитизация и гуманизация знаний о восстании в Центральной Азии. Под ред. Александра Моррисона и Гульнары Айтпаевой. Бишкек: Maxprint. С. 397–408
- 宇山智彦「人民の要求か、裏切られた革命か：クルグズスタン（キルギス）の2020年政変」

- 『スラブ・ユーラシア研究センターニュース』161, 11-16頁
- 宇山智彦「中央アジアに見る中華「現在」主義」『表現者クライテリオン』2020年5月号, 98-102頁
 - 宇山智彦「超大国ソ連の遺産と中央アジア諸国の現在」『歴史地理教育』2020年7月号, 10-15頁
 - 帯谷知可「「ウズベク映画上映会：1920年代無声映画の再発見」に寄せて」『日本中央アジア学会報』16, 67-74頁
 - 帯谷知可「ウズベク人はいかに装うべきか：ポストソ連時代のナショナルなドレス・コード」福田宏・後藤絵美編『「みえない関係性」をみせる』（グローバル関係学5）岩波書店（2600円＋税）, 45-69頁
 - 小澤実、諫早庸一「ウィーン発の中世グローバルヒストリー：ヨハネス・プライザー＝カペラー博士連続講演会」『史苑』80(2), 114-134頁
 - 河原弥生「コーカンド・ハーン国史としての『選史』」『西南アジア研究』91, 94-118頁
 - KOMATSU Hisao, “Yeni Kaynaklar Işığında Abdürreşid İbrahim Efendi ve Japonya,” A. Merthan DüNDAR ed., *Japonya Seyyahı Abdürreşit İbrahim'in İzinde*, İstanbul: Doğu Kütüphanesi, s. 9-28
 - 坂井弘紀「夢は告げる：テュルク口承文芸における夢のモチーフ」『和光大学表現学部紀要』20, 19-37頁
 - 坂井弘紀「弓の力」『説話・伝承学』28, 99-123頁
 - 櫻間瑛「多宗教社会と宣教の記憶：ロシア社会とムスリムの狭間に生きる人々の現在」『ユーラシア研究』62, 14-19頁
 - 澤田稔「聖者と政治：中央アジア東部の近世史」, 富山大学人文学部編『富山大学人文学部叢書Ⅲ 人文知のカレイドスコープ』富山：桂書房（1,500円＋税）, 66-75頁
 - 地田徹朗「全面的集団化前夜のカザフ人牧畜民（1928年）：「バイ」の排除政策と牧畜民社会」『地域研究』20(1), 13-36頁
 - 地田徹朗「ペレストロイカと環境問題：「アラル海問題」をめぐるポリティクス」『国際政治』201, 33-48頁
 - 地田徹朗「環境と地理からみる中央アジア地域研究のあり方」（特別連載「インタビューで知る研究最前線 第2回」）『アジア経済』61(3), 81-88頁
 - 長峰博之「ゾロタヤ・オルダ750周年国際会議参加報告：付伝ジョチ・ハン廟参詣記」『日本中央アジア学会報』16, 58-66頁
 - Нагаминэ Хироюки. Сынгак как «порт Дашт-и Кыпчака» и «город-мавзолей»: период от правления левого крыла Джучидов до основания «Казахского ханства» //

Золотоордынское обозрение. Т. 8, № 3. С. 533–551

- Nagamine Hiroyuki. On the *Jadwal* of Kök Orda and Aq Orda in the Paris Manuscript of *Muntakhab al-Tawārikh-i Mu'īnī* // «Сарыарқа және Алтын Орда: уақыт пен кеңістік» Алтын орданың 750 жылдығына арналған халықаралық ғылыми конференция материалдары, Қарағанды, 23–25 қазан 2019 ж. Б. 40–48
- 野田仁「新疆における露清間の国際集会裁判の運用：帝国と民族の境界をこえて」『西南アジア研究』90, 53–76頁
- 濱本真実「モスク建築からみるロシア・ムスリム史」『ユーラシア研究』62, 20–25頁
- 藤本透子「カザフスタンにおける伝統医療とエムシ（治療者）の活動」, 川田牧人、白川千尋、飯田卓編『現代世界の呪術：文化人類学的探究』春風社, 135–163頁
- 藤本透子「中央アジア草原地帯におけるコミュニティの再編と維持：カザフのアウルに着目して」, 本村真編『辺境コミュニティの維持：島嶼、農村、高地のコミュニティを支える「つながり」』ボーダーインク社, 179–215頁
- ベクトゥルスノフ、ミルラン「ソ連初期のクルグズスタンにおける民族エリートとヨーロッパ系活動家の対立問題：「30人の声明」を中心に」『日本中央アジア学会報』16, 1–18頁
- 宮崎千穂、エルムロドフ・エルドルジョン「ウズベキスタン共和国における『観光』の国家的意義の変容：新旧『観光法』の比較分析」『日本国際観光学会論文集』27, 53–61頁

映像作品

- ASHIROV Adham, MELIQO‘ZIEV Iqbol and WAZAKI Seika. *Guli Armug‘on: Women’s Local Islamic Ritual in Uzbekistan*, Ethnographic Film, Uzbekistan and Japan, 24 min. (9th International Festival of Ethnological Film “KRATOVO 2020,” Official Selection, October 2, 2020, Kratovo, Macedonia; 17th Royal Anthropological Institute of Great Britain and Ireland Film Festival 2021, Official Selection, March 18–29, 2021, online.)